

平成30年度 専修学校関係予算

専修学校教育の人材養成機能の向上	()は29年度予算額
○ 専修学校による地域産業中核的人材養成事業 分野に応じた中長期的な人材育成に向けた協議体制の構築等を進めるとともに、これからの時代に対応した教育プログラム等の開発や社会人の学び直しの推進、効果的な産学連携教育の実施のためのガイドラインの作成等を進める。 <事業での取組> ○産学連携体制の整備 ○教育プログラム等の開発 ・ Society5.0等対応カリキュラムの開発・実証【新規】 ・ 地域課題解決実践カリキュラムの開発・実証【新規】 ・ eラーニングの積極活用等による学び直し講座の開発促進 ・ 学びのセーフティネット機能の充実強化【新規】 ○産学連携手法(専修学校版デュアル教育)の開発	17.4億円 (16.8億円)
○ 専修学校グローバル化対応推進支援事業 諸外国における日本の専修学校の広報・優秀な外国人留学生の掘り起こし、日本語教育支援や修学支援、留学生の在籍管理、卒業後の国内への定着支援など、各地域における関係機関・団体との連携によるモデル体制の構築を進める。	2.0億円 (2.5億円)
○ 国費外国人留学生制度	7.9億円 (7.6億円)
専修学校教育の質保証・向上	
○ 職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進 専修学校における研修プログラム開発や研修体制づくり等による教育体制の充実を図るとともに、先進モデルの開発等による職業実践専門課程の充実に向けた取組の推進等を通じて、職業教育の充実及び専修学校の質保証・向上を図る。	1.3億円 (1.8億円)
○ 専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業【新規】 専修学校が担う職業教育の魅力発信力を強化するため、効果的な情報発信の在り方について検討・検証を行うとともに、関係機関と連携し、専修学校の職業教育機能を生かした体感型の学習機会等を提供した際の効果、連携に当たっての留意点を整理する。	0.6億円 ()
学びのセーフティネットの保障	
○ 専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業 意欲と能力のある専門学校生が経済的理由により修学を断念することがないよう、専門学校生に対する経済的支援策について総合的な検討を進めるため、実証的な研究として経済的支援及びその効果検証等を行う。	1.8億円 (1.8億円)
○ 私立学校施設整備費補助金	3.0億円 (3.0億円)
○ 私立大学等研究設備整備費等補助金	2.3億円 (2.3億円)
合 計	36.3億円 (35.9億円)

<東日本大震災や熊本地震からの復興関係>
 ○被災児童生徒就学支援等事業 ※東日本大震災復興特別会計 52億円の内数
 ○被災児童生徒就学支援等事業 (熊本地震対応分) 3億円の内数
 ※上記のほか、高等学校等就学支援金、日本学生支援機構の奨学金事業等の中に、専修学校生を対象とした予算が含まれている。
 ※計数はそれぞれ四捨五入しているため、合計と一致しない。
 ※このほか、平成29年度補正予算(案)に私立学校施設整備費補助金(学校施設の耐震化)を計上予定

■平成30年度専修学校関係予算は前年度より4千万円多い36億3千万円となりました。新規に「専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業」(6千万円)が計上されました。

これは、専修学校が担う職業教育の魅力発信力を強化するために、効果的な情報発信の在り方について検討・検証を行うものです。職業教育が大学教育に比べて一段低く見られる風潮が我が国では根強いと、①各ステークホルダー別の効果的な情報収集・情報発信の在り方②有効な広報ツールフォーマットの整理③職業体験型教育実施マニュアル整備などを検討し、専修学校が担う職業教育の発信力の強化を目指す新規事業です。

平成30年度事業計画原案には①職業教育の情報発信・機会提供、職業教育体系の確立と複層型教育に上程されます。事業計画原案、第2号議案・平成30年度事業計画原案、第2号議案・平成30年度収支予算原案を審議したあと、満場一致で提出議案が承認され、6月に開かれる本協会の総会に上程されます。

理事會では小林光俊会長が議長を務めて、第1号議案・平成30年度事業計画原案、第2号議案・平成30年度収支予算原案を審議したあと、満場一致で提出議案が承認され、6月に開かれる本協会の総会に上程されます。



平成30年度の事業計画原案などを決めた本協会の理事会=写真上=と、あいさつする小林光俊会長



理事会に先立って、小林光俊会長が「本協会の会長を仰せつかって6年になるが、政治と行政の後押しで4年前に職業実践専門課程が創設され、続いて専門学校、専門職短期大学が制度化された」とこれまでの実績を強調しました。その上で、「働き方改革や社会人の学び直しへの対応等職業教育は大きな転換期を迎えている

。新大学の創設によって、日本の職業教育は国際社会にも開かれたものとなる。こうした変化の波を本協会の事業でさらに前へ進めていきたい」と抱負を語りました。来賓として山谷えり子参議院議員、赤池誠参議院議員が出席しました。専修学校の予算増額を自民党の専修学校等振興議員連盟の総会などで訴えている山谷議員は「東京都は職業実践専門課程に新規予算を計上しており、こうした新しい動きを全国に広げていきたい」と述べた。また赤池議員は、専修学校の質保証及び向上、職業実践専門課程認定学科の大臣証明書

の発行などに関する国政報告を行う。また専修学校関係の平成30年関係予算(案)は総額36億3千万円です。前年より4千万円増となったことが報告されました。新規に「専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業」(6千万円)が計上されました。これは、職業教育が大学教育に比べて一段低く見られる風潮が我が国では根強いと、①各ステークホルダー別の効果的な情報集約・情報発信の在り方②有効な広報ツールフォーマットの整理③職業体験型教育実施マニュアル整備など、情報発信モデルの形成を目指していくということです。

また専修学校関係の平成30年関係予算(案)は総額36億3千万円です。前年より4千万円増となったことが報告されました。新規に「専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業」(6千万円)が計上されました。これは、職業教育が大学教育に比べて一段低く見られる風潮が我が国では根強いと、①各ステークホルダー別の効果的な情報集約・情報発信の在り方②有効な広報ツールフォーマットの整理③職業体験型教育実施マニュアル整備など、情報発信モデルの形成を目指していくということです。

引き続き、専修学校関係の平成30年関係予算(案)は総額36億3千万円です。前年より4千万円増となったことが報告されました。新規に「専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業」(6千万円)が計上されました。これは、職業教育が大学教育に比べて一段低く見られる風潮が我が国では根強いと、①各ステークホルダー別の効果的な情報集約・情報発信の在り方②有効な広報ツールフォーマットの整理③職業体験型教育実施マニュアル整備など、情報発信モデルの形成を目指していくということです。

引き続き、専修学校関係の平成30年関係予算(案)は総額36億3千万円です。前年より4千万円増となったことが報告されました。新規に「専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業」(6千万円)が計上されました。これは、職業教育が大学教育に比べて一段低く見られる風潮が我が国では根強いと、①各ステークホルダー別の効果的な情報集約・情報発信の在り方②有効な広報ツールフォーマットの整理③職業体験型教育実施マニュアル整備など、情報発信モデルの形成を目指していくということです。

引き続き、専修学校関係の平成30年関係予算(案)は総額36億3千万円です。前年より4千万円増となったことが報告されました。新規に「専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業」(6千万円)が計上されました。これは、職業教育が大学教育に比べて一段低く見られる風潮が我が国では根強いと、①各ステークホルダー別の効果的な情報集約・情報発信の在り方②有効な広報ツールフォーマットの整理③職業体験型教育実施マニュアル整備など、情報発信モデルの形成を目指していくということです。

本協会理事会

職業実践専門課程軸に専門学校制度の充実・改善

この基本方針に基づいて具体的な重点目標が掲げられました。まず基本方針の①では「職業教育等に関する情報発信・情報提供」「職業教育体系の確立への対応」、②については「専門学校の振興方策の実現に向けた対応」「職業実践専門課程の普及・検証及び質的な充実の推進」「職業実践専門課程の普及・検証及び質的な充実の推進」「職業実践専門課程の普及・検証及び質的な充実の推進」

文部科学省後援

J検

「創る」「使う」「伝える」
情報検定

情報活用試験

<平成30年度前期>ペーパー方式

試験日 平成30年6月17日(日)
 出願期間 手書願書—4月1日~5月14日(願書必着日)
 電子願書—4月1日~5月21日(//)
 実施級/受験料
 1級.....4,500円
 2級.....4,000円
 3級.....3,000円

CBT

J検全試験科目でCBT方式を導入。個人受験にも対応。詳しくはWebで。

情報システム試験

システムエンジニア認定
プログラマー認定

<平成30年度前期>ペーパー方式

試験日 平成30年9月9日(日)
 出願期間 手書願書—6月1日~7月20日(願書必着日)
 電子願書—6月1日~7月26日(//)
 実施級/受験料
 基本スキル.....3,500円
 システムデザインスキル.....3,000円
 プログラミングスキル.....3,000円

詳細はホームページをご覧ください
 (一財)職業教育・キャリア教育財団 検定試験センター 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
 事務取扱先 TEL.03-5275-6336

情報デザイン試験

CBTのみ
 詳細はJ検HPを参照下さい。
 実施級/受験料 初級.....4,000円
 上級.....4,500円

※ペーパー方式は団体出願のみ実施となります。
 ※CBT方式は「併願受験」をサポートするプランも実施中です。(団体のみ対象)

